

2022年3月24日

ボランティア活動に携わる学生のみなさん

成蹊大学ボランティア支援センター

所長 光田 剛

新年度に向けた新型コロナウイルス感染症対策下でのボランティア活動について

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大は、より感染力の高い変異株への対応など予断を許さない状況が続いていますが、成蹊大学としては学生の健康と安全の確保を第一に、研究や学びを絶対に止めないという態度で臨みたいと考えており、徹底した対策に取り組んでいます。

ボランティア支援センターでは2020年4月8日に「ボランティア活動に関する当面の方針について」を発出したところですが、今般の状況を鑑み、新たに以下の指針を定め、当面の間を対象期間とします。

新年度にむけて活動がさらに活発化していくと思われまます。十分な感染症対策に留意しながら、できることは何かを互いに考えながら、活動に取り組んでいきましょう。

（1）ボランティア活動を行う上でまず心がけること

- ①自分自身が感染しない／他人を感染させない
- ②活動中も感染症対策を意識して行動する
- ③適切な情報収集を継続的に行う
- ④悩んだら相談する

ボランティア活動は、人との接触を伴う活動が多く、活動内容によっては新型コロナウイルスに感染した場合に重症化の危険性が指摘されている方々を対象とすることも多くあります。

また、学生のボランティア活動は、その特質としてキャンパス外での活動が多く、特に長距離移動を伴うこともあります（これらは主にキャンパス内で学生のみで活動する課外活動と大きく異なる点です）。

成蹊大学では厳格な感染防止マニュアルに基づき部活動や届出団体等の課外活動団体が活動していますが、とりわけボランティアに取り組む学生には、こういった特質を理解して、より一層の徹底した対策を求めます。

（2）活動を行うとき（ボランティア活動時の行動指針）

①まずは相談をしましょう

- ・ボランティア支援センターでは、ボランティアに関する相談を随時、受け付けています。
- ・相談は対面のほかに、オンライン（zoom等）やメールを用いることが可能です。

※特に対面の場合にはできるだけ事前予約をお願いします。

事前予約フォーム：<https://forms.office.com/r/Asqq17bvVd>

- ・ボランティア支援センターの掲示板ではボランティア募集情報の掲示を行っているほか、募集案内の配架もしていますので、お気軽にお立ち寄りください。

②学内での活動について

- ・ボランティア支援センターの施設が利用できます。また、ボランティア支援センターの登録団体であれば教室等のキャンパス内の施設も利用することもできます。詳しくはボランティア支援センターへお尋ねください。

(学内施設利用時は大学やボランティア支援センターが定めるガイドラインを遵守すること。また、施設利用は本学学生・教職員に限ります。)

- ・感染リスクを軽減するために、なるべくオンラインを活用しましょう。
- ・登下校時も含めて活動前後にも細心の注意を払うようにしてください。

○成蹊大学「対面授業実施時における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン 第7版」

<https://www.seikei.ac.jp/university/covid19-info/pdf/guideline.pdf>

③学外での活動について

- ・学外での活動時は、活動先の感染症対策マニュアル等を事前に確認し、その徹底や遵守はもちろんですが、少しでも不安なことや疑問点があれば事前に活動先に確認をしておきましょう。
- ・活動にあたっては、ボランティア保険への加入を強く推奨します。
(ボランティア保険は、社会福祉協議会等で加入することができます。詳しくは各市区町村の社会福祉協議会の担当窓口へ直接問い合わせてください)
- ・感染リスクを軽減するために、オンラインで活動する方法もあります。活動先が見つからないときは、ボランティア支援センターでも相談に応じますのでご相談ください。
- ・ボランティア支援センターは、感染症対策の徹底のため、学外での活動に際しては次の基準を設けて、募集情報の取り扱いを一時的に中止することとしています。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・成蹊大学活動制限指針がレベル2以上に指定された場合 ・政府ならびに首都圏（一都三県のいずれか）において感染警戒を要する情報が発表された場合 ・その他、感染拡大傾向や学内クラスター発生、センターが取扱停止と判断した場合 |
|---|

※この基準を参考に、情勢を見極めてオンライン活動への全面切り替えなど活動方法の見直しやボランティア活動を中止するなどのタイミングを慎重に検討してください。

④いかなるときでも「健康と安全」を最優先に考えてください

- ・感染症対策は、その場限りではありません。日常生活から意識をしてください。
- ・体調が万全でないときや、不安がある際にはためらうことなく活動を控えてください。活動の途中であっても、速やかに活動先の担当者へ相談をしてください。
- ・活動への参加を相手に強要するようなことはしないでください。また、活動への参加を強要されたときは、応じないようにしてください。相手から強要されたと感じたときには、すぐにボランティア支援センターへご連絡・ご相談ください。
- ・以下の資料も参考にしてください。

○厚生労働省「新型コロナウイルスを想定した『新しい生活様式』の実践例」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

(3) 問い合わせ・相談先など

○ボランティア活動について

成蹊大学ボランティア支援センター

TEL : 0422-37-3448 E-mail: : svc@ms.seikei.ac.jp

開室時間 : (平日) 9 : 00~11 : 30/12 : 30~17 : 00 ※土日祝は閉室となります。

○新型コロナウイルス感染症等について

感染が疑われる場合は症状や状況に応じてフローを確認し、その指示に従ってください。

大学保健室 URL <https://www.seikei.ac.jp/university/campuslife/hoken/>

成蹊大学保健室 TEL : 0422-37-3518

開室時間 : (平日) 8 : 30~11 : 30/12 : 30~17 : 00 (土) 9 : 00~12 : 00

※長期休業期間中の平日は、9:00 開室となります。

○感染・濃厚接触等が判明した場合のボランティア支援センターへの連絡について

ボランティア支援センター登録団体の場合には、感染・濃厚接触判明の段階でその事情をただちにボランティア支援センターに連絡するようにしてください。それ以外のみなさんも、ボランティア活動中やその前後に自身の感染や濃厚接触・濃厚接触の疑いが判明したときには、ただちにボランティア支援センターに連絡をお願いします。

(4) おわりに

本来的なボランティアの意味からすると、ボランティア活動は、社会課題等の解決に取り組む学生各々の自主性・自発性が最大限尊重されるべき行為であると考えています。

一方で、ボランティア支援センターは、大学の附属機関として、学生のみなさんの意思や意欲を重んじつつも学生のみなさんの安全確保を最優先に考えています。また、学生自身が活動先等で感染源となることは絶対に避けなければなりません。感染を防ぎ、感染拡大を抑止することを目的にこの指針を定めました。

学生のみなさんのなかには、この状況下においてボランティアや社会貢献活動への意欲や思いがさらに強くなっている人もいます。しかし、今は慎重に慎重を重ねて自分の行動を決めなければならない時です。

今回の新型コロナウイルス感染症については、感染しても若年層は無症状・軽症である可能性があり、また、自覚しないうちに感染を拡げてしまう可能性があると言及されています。第一に安全確保のために行動を慎重にして、新型コロナウイルスへの感染や拡大防止に努めてください。

(5) その他

別に、本センターから感染症対策の徹底を含めた「感染対策下における活動について」をまとめています。併せて確認をお願いします。

以上